PRESS RELEASE

ケルヒャー洗伝 PROJECT「渋谷を洗います」アクション始動
『第 18 回渋谷芸術祭 2026』にて洗浄アートを公開

ハロウィン後の渋谷を巡る「ハチ公の足跡」や、アーティスト・BAKIBAKI 氏による渋谷川の大型洗浄アートをお披露目

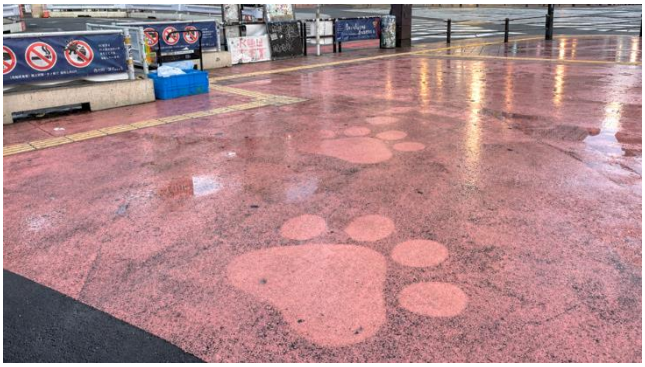
2026 年 11 月 4 日
ケルヒャー ジャパン株式会社

ケルヒャー ジャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：挽野 元）は、渋谷の街をまるごとアートパークととらえ、多様な人々がアートに「触れる」「考える」「感じる」機会を創出する「第 18 回渋谷芸術祭 2026 ～SHIBUYA ART SCRAMBLE～」において、高圧洗浄機で汚れを除去しながらアートを描く「洗伝 PROJECT」の作品を制作しました。完成した作品は、2026 年 11 月 4 日（水）より一般公開しています。

本取り組みでは、渋谷駅前ハチ公広場から MIYASHITA PARK へ至る路面の汚れを落として制作した「ハチ公足跡洗浄アート」および、アーティスト・BAKIBAKI 氏が渋谷川沿いの壁面に手掛けた大型洗浄アートを公開いたします。

■公開作品

作品1. ハチ公足跡洗浄アート ～ハロウィン後の渋谷をハチ公が洗浄！？～



ハロウィン翌日であり「犬の日」でもある 11 月 1 日に、渋谷の象徴であるハチ公が、ハロウィン後の汚れた渋谷の街を駆け回りながら綺麗に洗浄するストーリーを表現した洗浄アートを製作しました。渋谷駅前のハチ公像から MIYASHITA PARK のハチ公像へ向かって、路面に次々とハチ公の足跡を浮かび上がらせながら、ハチ公の移動動線一帯を綺麗に清掃していく洗浄アートを制作しました。

BEFORE

AFTER

作品2. 渋谷川洗浄アート ～渋谷川に大型洗浄アートが出現！～

2026 年 11 月 2 日(月)・3 日(火)の 2 日間にわたり、アーティスト・BAKIBAKI 氏が高圧洗浄機を用いて制作した大型アートです。渋谷川沿い(稲荷橋広場付近)の壁面に蓄積した汚れを除去することで、洗浄アートを描き出しています。

■プロジェクト実施概要

- **プロジェクト名:**ケルヒャー×渋谷芸術祭 2026 洗伝 PROJECT@渋谷
- **公開期間:**2026 年 11 月 4 日(水)～11 月 8 日(日)
- **公開場所:**渋谷川(稲荷橋広場付近)、ハチ公前広場、MIYASHITA PARK(1F・4F・階段)

- **開催概要：**ケルヒャーの高圧洗浄機で、汚れた壁にリバースグラフィティを制作するプロジェクト。渋谷を散歩する「ハチ公」の足跡アートや、BAKIBAKI 氏による渋谷川のアートを展開。
  渋谷芸術祭公式サイト：https://shibuyaartscramble.tokyo

■背景

『ケルヒャー洗伝プロジェクト』は、ケルヒャーが文化貢献活動の一環としてグローバルに取り組んでいるリバースグラフィティプロジェクトを起点に、日本独自の活動として新たに展開する取り組みです。汚れを洗浄する過程の中に、様々な団体の魅力をアピールできる仕組みを生み出すことで、「行政」「自治体」「企業」「教育機関」をはじめとしたパートナーとの連携を目指します。2026 年 4 月には、完成 30 周年を迎えた松田川ダム（栃木県足利市）に「侍」を描き出すプロジェクト『BRING BACK THE SAMURAI Powered by ケルヒャー』において、ダム壁面に巨大な「侍」アートを完成させました。

このたび、渋谷の街をまるごとアートパークととらえる「第 18 回渋谷芸術祭 2026～SHIBUYA ART SCRAMBLE～」の趣旨に賛同し、公共空間の清掃活動とアート製作を組み合わせた新たな取り組みを実施しました。

■本取り組みの独自性と社会的意義

塗料や化学物質を使用せず、水圧のみで壁面や路面の汚れを落とす「リバースグラフィティ」は、環境負荷に配慮した都市空間を再生する手法です。日常の生活動線である公共空間そのものをアートパークとして活用し、清掃作業自体を文化的な表現へと昇華させることで、都市美化と芸術祭のプログラムを融合させた持続可能な景観活用の事例を提示します。

※ニュースリリースに記載された内容は発表時の情報です。
予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。